

途上国に住む盲目の子供たちを支援する



認定NPO法人

ヒカリカナタ基金



ヒカリ届けます 遥かカナタまで

● 特集 ●

竹内理事長パラリンピックで聖火ランナーに!





パラリンピックで聖火ランナーに！

認定 NPO 法人 ヒカリカナタ基金 理事長 竹内昌彦



新しい年が期待と不安を抱えながら始まりました。皆さんはどのようなお正月をお迎えだったでしょうか。昨年は地球倫理推進賞、モンゴルからの友好勲章、そして年末には厚生労働大臣表彰を受けるなどうれしいことがたくさんありましたが、それ以外に忘れられないことは何と言っても8月24日の夜、東京パラリンピックの開会式の最後に国立競技場の真ん中で妻と聖火を高々と掲げることができたこ



とでした。いつもは私の陰に隠れている妻が、この時ばかりは私を誘導しながら大勢の選手たちや来賓の人たちに向かって、私の代わりに笑顔で手を振ってくれました。私の仲間たちも花束や日の丸を持って岡山に帰る私たちを迎えてくれました。私のようなものがどうしてこのような大役を任されたのか不思議でしたが、これも友人たちがそと関係の人たちに働きかけてくださっていたことが遠くから聞こえてきました。この聖火入場のことは、私が思っている以上に大きな出来事でした。何と言っても世界中の人たちが私の名前を聞き姿を見ることになったのです。あの開会式以後、いろいろな講演や会議に出席しましたが、そのたびに「東京パラリンピックの開会式で聖火を・・・」と紹介されるのです。大勢の人たちに知っていただくことはすなわち「ヒカリカナタ基金」が有名になり、その理解者と協力者を増やすことにつながることに気がきました。コロナの騒ぎは一向に収まる気配がありません。私たちの基金も動きが取れませ

ん。それだからこそ今年は特に基金の力を付けることに全力をつくさなければならないと考えています。お金がたくさん集ま



れば、それだけ大勢の目の不自由な子供たちを助けることができます。力さえついてくれば、高齢者の白内障の手術費も送りたい。「目のことで困ったら日本人に相談しろ」「目のことなら『ヒカリカナタ』へ頼め」と世界中から言われるようになりたい。そして2100年のノーベル平和賞が「ヒカリカナタ基金」に贈られる姿を空の上から眺めるという初夢を正夢にしようではありませんか。

これまでに433人の子供達の間が見えるようになりました。

国名	キルギス	ネパール	モンゴル	ミャンマー	カンボジア	合計
人数	138人	21人	5人	16人	253人	433人



中央アジア

キルギスのキーラちゃん（1歳）のおばあちゃんからのメッセージ

こんにちは。私はキーラの祖母です。私たちはヒカリカナタ基金をはじめ竹内様に心から感謝を申し上げます。私の孫の手術のご支援ありがとうございます。孫は生まれた時から両目は白内障です。今日の11時ごろ左目の手術がありました。手術を一番いいお医者さん、マリックさんがしました。お陰様で手術が成功でした。キーラちゃんの手術代を全部支援してくださり、ありがとうございます。私たちにとって手術代は大きな金額で、経済的に大変です。改めて、皆様ありがとうございました。（2021年9月）



中央アジア

キルギスのアデミちゃん（8歳）からのメッセージ

皆様、こんにちは。私の名前はアデミです。8歳です。私はよく見えない時眼鏡をかけていました。冬は特に眼鏡をかけるとても不便でした。手術後に眼鏡をかけず見えるようになりました。とても嬉しいです。将来はビジネスウーマンになりたいです。私の手術に支援してくださった日本人の皆様、ありがとうございます。私は大きくなったらヒカリカナタ基金に貢献したいです。（2021年11月）

携帯用点字ブロック『ほたる』を活用した防災訓練の実施

笠岡市防災士 避難所設営副本部長 堀内直美様(ヒカリカナタ基金会員)



笠岡市で実施の防災訓練。避難所設営に欠かせないのが携帯用点字ブロック『ほたる』です。まずは防災士が『ほたる』の意義を理解することが必要で「これは軽いね。」「着脱が簡単で、すぐ設置できるよ。」と予行演習で好評。訓練当日にも適切な場所を判断し、率先して設置することができました。

この『ほたる』を活用することから、様々な障害のある方、高齢者などに配慮する心が芽生えます。そして、各種団体の役員の方には、避難所だけでなく、地域や学校行事にも活用できるという『ほたる』の利点を知っていただくよい機会となりました。（2021年11月）

今後の活動予定 みなさまお気軽にご参加ください！

● ジャパンハート 吉岡秀人先生の講演と対談会（笠岡市主催）

2022年2月23日（水・祝）

13:00～ 笠岡市民会館ホール

<前半> ジャパンハート 吉岡秀人先生の基調講演

<後半> ヒカリカナタ基金 竹内昌彦との対談

参加方法はオンライン（WEB会議システムZOOM）も可能です。コロナ感染状況によってはオンライン開催となる場合もあります。

● 点字ブロックの日記念イベント

2022年3月18日（金）

14:00～ 「エスコートウォーク」 原尾島点字ブロック発祥の地の石碑前から岡山駅まで点字ブロックを辿って歩きます。

15:30～ 「啓発活動」 岡山駅西口2F周辺で点字ブロックの歩行体験。

点字ブロック啓発のステッカーとティッシュ配り。

● 点字ブロックの日記念式典

2022年3月20日（日）

13:30～ 岡山国際交流センター 2F 国際会議場

全盲の弁護士 大胡田誠様の講演、ヒカリカナタ基金の活動報告、他

参加ご希望の方はヒカリカナタ基金事務局までご連絡ください。Tel：086-242-3535

賛助会員募集中！

皆様からの寄付金が集まって、子供達の目の手術代となります。皆様のあたたかい思いやりをひとつに結集して、できるだけ大きな支援を目の不自由な子供達に送り届けましょう！下記の年会費を納入していただいた時点で賛助会員となりますが、翌年以降の継続、退会は自由です。

後日、メールか郵送で活動報告の広報誌等をお届けします。

※また年会費以外に、通常の寄付も随時受け付けておりますので、同じく下記窓口からよろしくお願いします。

年会費
個人の方 (1口) 3,000 円/1年間
法人の方 (1口) 5,000 円/1年間

※法人様はできれば2口以上からお願いします。

毎月の寄付も可能です

金額はいくらからでも構いません

認定 NPO 法人ヒカリカナタ基金への寄付は税制上の優遇措置が受けられます。

下記のいずれかの窓口でお振込みください。

銀行 金融機関

ゆうちょ銀行

お振込みのご案内

■ ゆうちょ銀行もしくは郵便局からの場合

ゆうちょ銀行

振替口座

口座記号番号：01380-4-106091

口座名義：特定非営利活動法人 ヒカリカナタ基金

■ 他の銀行、金融機関からの場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード9900）

店名：一三九（イチサンキユウ）（店番139）

預金種目：当座

口座番号：0106091

口座名義：特定非営利活動法人 ヒカリカナタ基金

インターネット

■ 「ヒカリカナタ基金」ホームページから。



www.hikarikanata.com

電子決済

PayPay



PayPayをご利用の方は必ず入金情報を事務局までお知らせください。

<金額、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス>

連絡をいただけない場合、どなたからの入金か不明となります。

ヒカリカナタ基金事務局の連絡先は下記参照ください。



認定NPO法人
ヒカリカナタ基金

◎事務局

〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-11

Tel：086-242-3535 / Fax：086-242-3311

E-Mail：npo@hikarikanata.com

www.hikarikanata.com

ヒカリカナタ基金



竹内昌彦「ヒカリカナタ基金」
www.facebook.com/hikarikanatakikin



竹内昌彦
twitter.com/masahikotakebot

■ポスターの掲示場所、募金箱設置場所を募集しています。

■点字の広報誌もあります、ご希望の方は事務局にご一報ください。